

本資料は、投資家が匿名組合契約の申込みにあたり、
必要な営業者情報を営業者が独自にまとめたものであり
金融商品取引法による法定開示情報ではありません。



ハレの日文化を守り育てる 尼崎発 菰樽応援ファンド

株式会社岸本吉二商店

Since 1900

会社概要



理念：江戸時代から続く菰樽（こもだる）の文化を今に伝える

会社名	株式会社 岸本吉二商店
代表	岸本 敏裕
所在地	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目8番25号
法人設立	1959年8月12日
資本金	12,500,000円
事業内容	鏡開き・菰樽商品の製造・販売
取引先	白鶴酒造株式会社・大関株式会社・剣菱酒造株式会社・ 菊正宗酒造株式会社・月桂冠株式会社・黄桜株式会社・ 全国主要醸造元

岸本吉二商店の歴史



- 1872年 岸本吉二（現社長 曾祖父） 誕生
 - 1900年 岸本吉二商店 創業
 - 1945-1950年 戦時中は菰樽製造中止 1950年製造再開
 - 1959年 法人設立
 - 1963年 1.8ℓ菰樽発売
 - 1995年 阪神・淡路大震災で倉庫半壊
 - 2003年 ミニ鏡開きセット発売
 - 2006年 もりあげ樽Donpaレンタル開始
- 国内では2社のみとなった菰縄のつくり手として

国内で見かける菰樽の半数以上を製造

菰樽の歴史 江戸期

- 江戸時代：酒を江戸に輸送（下り酒）する為の杉樽の緩衝材として菰縄（こもなわ）を巻く＝菰樽誕生
- 文化・文政期には、江戸に運ばれた下り酒が**100万丁突破**。
4トントラックで100万丁を運ぶとなると・・・



90 k g

× 100万 ÷



4トントラック
(積載3,000 k g)

=

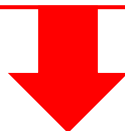


30,000台

- 明治初期、瓶詰商品の登場により樽詰商品が減少
- 大正半ば、樽詰め商品と瓶詰め商品の販売数量逆転

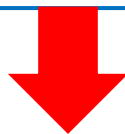


- 終戦後、兵士たちの復員などにより飲酒人口が急増
- 昭和20年代半ばから、酒造原料米の割当てが回復し生産量が伸びる



菰樽の需要が増加

- 平成以降：日本酒需要減少。阪神大震災の影響もあり、兵庫県を中心に10軒ほどあった菰縄をつくる会社も、現在は尼崎に2社のみ



菰樽文化を守るため、岸本吉二商店が
新しいカタチに挑戦

現在の菰樽の使われかた

こもだる
菰樽

お祝いごと



店舗内の装飾



菰樽の新しいカタチ（当社商品）

こもだ
菰樽

テーブルでできる鏡開き ミニ鏡開きセット



菰樽の新しいカタチ（当社商品）

こもだる
菰樽

クラッカーでよりおめでたく もりあげ樽ドンパ



菰樽の新しいカタチ（当社商品）

こも だる
菰樽

新春の彩りに 干支デザイン菰樽



当社取扱商品（一部）

菰樽

多彩なラインナップで
菰樽の文化を後世に伝える



鏡開き菰樽



ミニ鏡開きセット



桧升・塗升



オリジナルデザイン



名入れデザイン



ディスプレイ飾り樽



レンタル鏡開き



Donpa（ドンパ）

※クラッカーと鏡開きが一つになった
レンタル商品

稲わら刈りと菰巻き実演体験 日本の伝統文化承継



自分たちが分かる事業を、やたら広げずに、
愚直に、真面目に
自分たちの頭できちんと考え抜き、
情熱をもって取り組んでいる企業

「日本の優秀企業の研究（新原浩朗著）より」

【ご参考】財務情報

(単位:百万円)	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
売上高	250	322	452
流動資産	319	317	220
純資産	362	371	378
総資産	534	530	552

注) 決算月は6月です。

上記財務情報については、公認会計士または監査法人の監査を受けておりません。